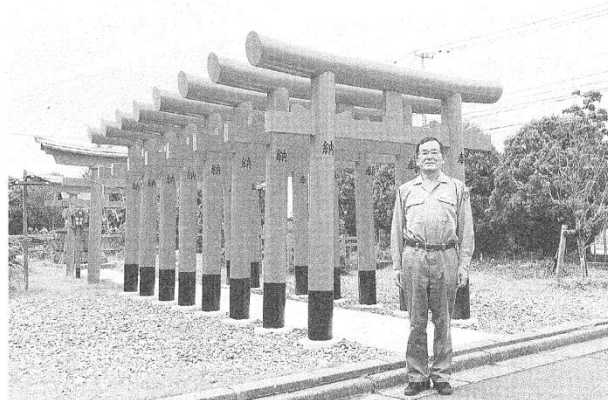


発行 上越市内読売センター
 YC 直江津(中央1) TEL 543-2215
 YC 上越中央(春日野1) TEL 526-9234
 YC 高田(本町1) TEL 523-2745
 編集 株式会社 上越情報プレス
〒943-0836 新潟県上越市東城町 3-8-23
 TEL 025-521-7025 FAX 526-4628
 HP : www.jjp.co.jp E-mail : info@jjp.jp

直江津に新名所誕生?

日鉄住金工材が「百年継続祈願鳥居」



「百年継続祈願鳥居」と石川社長

上越市川原町の日鉄住金工材株式会社(石川昌弘社長)は、このほど、同社敷地内にある稲荷神社に鳥居を増設し、京都・伏見稲荷大社の「千本鳥居」を模した「百年継続祈願鳥居」を設置した。会社営業日の月曜から金曜の午前8時〜午後5時までなら、誰でも自由に敷地内に入り、参拝、写真撮影が可能。

鳥居の増設は、同社の創業70年記念事業の一環。社は、同社の前身となる会社が大阪で創業した際、取引先の紹介で京都の伏見稲荷大社を会社と縁の深い「守護神社」としたことに由来する。同社は44年、太平洋戦争の影響による国内輸送環境の悪化に伴い、材料元の日本ステンレス(株)直江津工場(現・新日鐵住金直江津製造所)に近い現在の同市港町に工場を移転。戦後は株式会社となり、60年には現在地の川原町に移転した。その際、新社殿の建設に合わせ、当時の全社員が寄せ、当時の全社員を推進によって2基の鳥居を建設したという。

同社は、ステンレスやチタン、チタン合金をはじめ各種特殊合金の製造販売メーカー。主力製品の1つであるチタン製電着ドラムは、電気自動車のリチウムイオン電池やスマートフォンなどの電子回路基板製造に欠かせない設備で、国内シェア100%、世界シェアもトップを誇る。

このため、毎年、中国などのアジアの取引先から多くの工場見学者が訪れると、鳥居は記念撮影スポットとして大好評。これに着眼し、今年6月、高さ2層60坪、幅1層55坪の硬質塩化ニール製鳥居8基を設置。鳥居の数は合計10基となり、1基を10年と考え、1000年続く企業を目指し「百年継続祈願鳥居」と名付けられた。

白い玉砂利を敷き詰め、た10層あまりの参道には10基の赤い鳥居がトンネルのように連なり、参道の奥には、石の台座の上に木造銅板葺きの小さな社が鎮座。鳥居の一番手前に立つと、どこか異次元の世界に引き込まれるような神秘的な雰囲気も漂う。

「同じ市内でも直江津は高田に比べて、観光スポットが少ない。市民や観光客が集まる記念写真スポットを作りたいと常々考えていた」と語る石川社長。また近隣企業も独自に記念写真スポットづくりをしてほしいという思いもあり、まずは自ら先陣を切ったという。

石川社長は「敷地入り口から鳥居までは出入り自由なので、事務所に声をかける必要もない。気軽に訪れ、鳥居や社殿を見ていただければうれしく」と話している。

問い合わせは、同社543・3401。